

## Follow up

会長の時間 22—例会再開にあたり

例会がようやく再開叶いました。本日は、年間スケジュールで国際奉仕フォーラムですが、神吉国際奉仕理事のご了解を頂き、休会中の各ご報告に充てる事となりました。

さて、昨年12月の第1例会までは、種々感染防止対策を親睦委員会の皆さんとホテルのご協力も得て開催して参りましたが、12月第三週に入り、大阪府では、感染者の増加のみならず、重症病床の運用率が80%に至り、病床の逼迫合いはステージ4をはるかに上回ります。そこで緊急に理事役員会で協議、12月の第3週、第4週の例会と準備済みだった忘年家族会代替企画の中止を全員一致で決定するに至りました。その際、休会のお知らせにこう書きました。

『ロータリー活動は、不要不急であろうはずもなく、まさしく“必要”と信じ、例会開催に舵を切り続けました。しかしながら「勝負の3週間」でも効果の出ていない現状に鑑みると、社会の範となるべき我がクラブが、年内の例会開催を取りやめ、もって1、会員の安全を守り、2、医療現場へ負担がかかる可能性をどんな事からも減らす行動に出るべきと考え、本決断に至った次第です』

そして以後本日に至る迄4回に及び理事会で都度情勢分析、討議を重ねます。幸い本年度理事会にはドクターがお二方入って下さっており、専門的見通し分析をも頂きつつ、都度苦しい休会の決断を重ねました。そしてようやく先月末、緊急事態宣言解除を受け、やはり理事会で慎重に検討した上で、更なる感染防止策と会食取り止めを条件にいよいよ例会再開を決断するに至りました。

止めるのも決断なれば、動かすのも決断。本決断にお力添えを頂いた理事役員の皆様に心から御礼申し上げます。そしてこの間、ご不便をお掛けしました会員の皆様に重ねてお詫び申し上げます。

この間、情報の滞りを無くす為、週報特別号を毎週都合8回出し、会員情報やRIの情勢、他クラブの状況をお伝えし、又丁度70周年を迎えた創立記念月の先月には、創立に至る経緯の一端をもご紹介、我がクラブの連綿と続く奉仕の数々をもご紹介しました。他方毎例会日に、わたくしと奥中幹事が事務局に詰め、Zoomを立ち上げインフォーマルとしつつ、Onlineミーティングを皆さんと重ねてきました。まさにその中で、堺市医師会への医療用手袋10万枚緊急寄贈が実現に至るきっかけとなりました、「ニトリルにこだわる必要なし」との重要提案も出て参り、そこからわずか1週間以内で実現に至りました。又、理事会で仮決めしました休会中の例会費の扱いに付き週報特別号でも投げかけ、更にご意見を求めこのOnlineミーティングでもご議論頂き、結果、今回の奉仕に使うと言う理事会結論に賛意を頂き、皆さんの資金であの奉仕を成し得ました。毎回このZoomに10人以上ご参加下さり、公私にわたる大変貴重な意見、情報交換が出来ました。

又、周囲の状況（RI や地区、他クラブ）はどうであったかと申しますと。大阪 RC も我々より 1 週遅れで今週初、リアルの例会再開を決定し、明日行うようです。和歌山地区では、和歌山 RC の様に開催し続けたところがあれば、和歌山城南 RC のように今月まで休会にしている所もありバラバラ。堺地区では、HP が無かったり、あっても HP が年度初めのままでオンタイムに情報発信できていなかったりで、全てを確認できません。が、ほとんどが休会に至ったようです。堺北 RC のみ、開催し続けたと聞きます。いずれにせよ、各クラブでのお考えや、Online 対応の可否で対応が分かれた様ですが、RI は、6 月までのリモート会合を地区にもクラブにも強く推奨しており、国際大会も昨年に続き、Online となりました。地区でも PETS、地区協ともに YouTube 配信での受講になり、アクトや米山の各行事も同様であります。地区大会は、極めて変則的な少人数の会合として開催されます。蜜を避ける為だそうです。

以上、ざっとではあります。休会経緯と休会中の状況でした。

最後に今後のプログラムですが、基本的には担当の寺崎会員がお纏め下さった年間行事予定表に戻り、外来卓話、新入会員卓話と進めて参り、上期休会にてお招きできなかった外部卓話は、次年度にストックとして申し送りさせていただきます。ただ残念ながらクラブアッセンブリー（CA）については、各委員会とも半分以上実働が取れず、地区もフリーズしている以上、従来通りの CA にはなれないと思います。そこで、行事予定表で 5/27 に予定しています最終の CA プログラムを変則形態とし、CA でご報告頂ける委員会のみ前半の時間にご報告を頂き、後半の大半をこれ又休会で出来なかった部門、職業奉仕と本日の国際奉仕の各フォーラム時間に充てたいと考えています。クラブ奉仕は、休会前に実施済みで、青少年フォーラムは、この先に戻る通常プログラム内で谷村委員長にご予定頂いています。

さて結びに季節話を少し。毎年咲く拙宅の水仙、植えた覚えがないのです。ある年、どこであったか記憶も定かではないのですが、田舎のあぜ道で休憩しているお婆さんの周りに水仙が咲いており、ふと自宅の植えたはずもない水仙を思い出し、尋ねてみました。すると何とお婆さん曰く「あー水仙は歩くんじや」と。もちろん信じるはずもなく、でも何て素敵な表現、まなざしかと感動しました、その一言に。後に水仙は種でもなると知ったのですが、以来この押しかけ水仙が好きになりました。昨年の今頃は、こんな水仙にも視線も、思いも行きませんでした。今年これらに気づいたという事は、コロナの冬も終わりに近いかもしれませぬ。そう信じて、皆さん前に進みましょう。

本日はこれにて、おやかましゅうございました。

2021 年 3 月 11 日 忘れてはならない 3.11 の日に

第二十二例会 会長の時間にて 東野裕暢